

# 八田原ダムにおける防災操作による治水効果(令和5年5月6日~8日 前線による降雨)

速報

八田原ダム流域では、前線の影響により令和5年5月6日の昼過ぎから雨が降り始め、6日の夕方から7日の夜遅くにかけて雨が降り続き、降り始めから8日までの流域平均総雨量は144.4mmを記録しました。

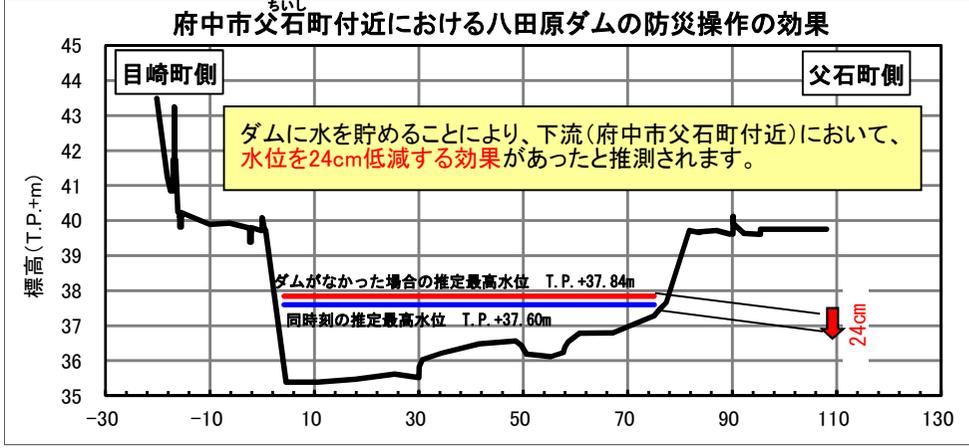
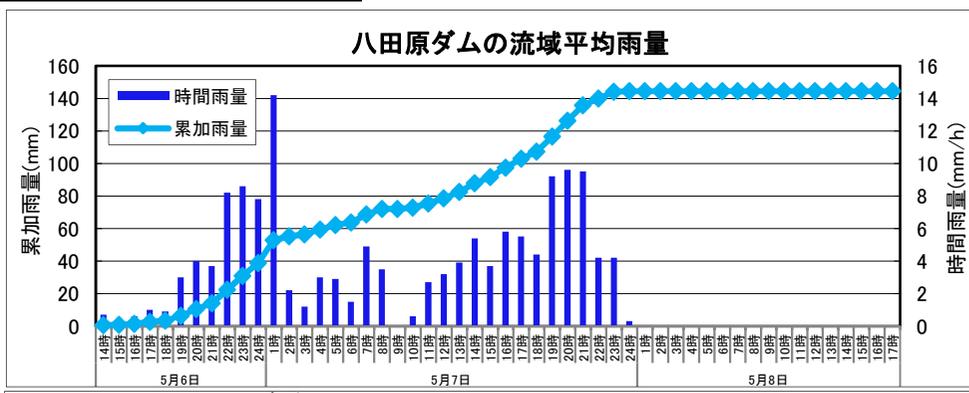
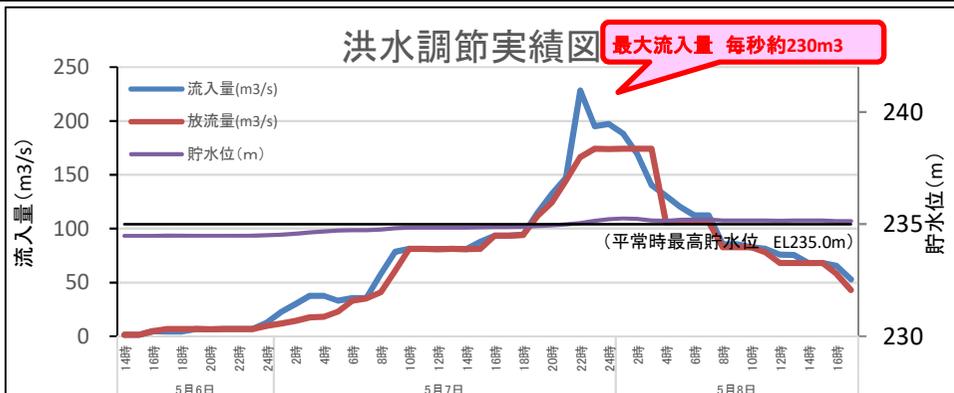
八田原ダムでは、ダムへ入ってきた水の量が最大で毎秒約230m<sup>3</sup>に達しました。

この洪水において、八田原ダムにおいては防災操作<sup>\*</sup>を行いました。このうち、最大流入時で毎秒約60m<sup>3</sup>の水をダムに貯め込みました。

この結果、府中市父石町付近で水位を24cm低減する効果があったと推測されます。

<sup>\*</sup>『防災操作』とは、大雨などによりダムに流入する洪水の一部を貯水池に貯め込み、放流量を流入量より小さくしてダム下流の河川に流す操作です。

八田原ダム位置図



※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。